

沖縄海邦銀行

第75期 営業のご報告

2021年4月1日から2022年3月31日まで
(2022.3 ミニディスクロージャー誌)



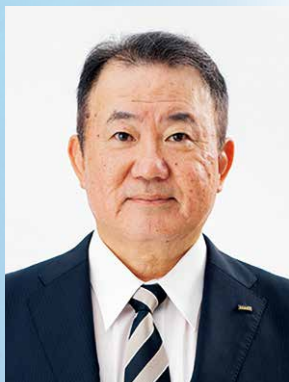
OKINAWA
KAIHO

当行の概要 (2022年3月31日現在)

創 立	1949年5月1日
設 立	1964年4月2日
資 本 金	45億37百万円
本 店	〒900-8686 沖縄県那覇市久茂地2丁目9番12号 電話番号 (098) 867-2111 (代表)
店 舗 数	50店舗(うち出張所2店舗)
従 業 員 数	832名
株 主 数	2,306名
ホームページアドレス	https://www.kaiho-bank.co.jp

CONTENTS (目次)

ごあいさつ	… P 1
経営方針	… P 2
トピックス	… P 4
かいぎんSDGs宣言	
1.自然環境の保全	… P 6
2.地域経済の発展、持続的な成長	… P 8
3.地域社会の活性化	… P 10
業績ハイライト(単体)	… P 12
第75期財務諸表(単体)	… P 14
第75期財務諸表(連結)	… P 15
役員、株式のご案内	… P 16
かいぎんのネットワーク	… P 17



代表取締役頭取 新城一史

ごあいさつ

皆さまには、平素より私ども沖縄海邦銀行を御利用いただき、心より御礼申し上げます。

さて、ここに2021年度(75期)の営業の概況と決算状況についてご報告申し上げます。当行について、より一層のご理解をいただくための参考となれば幸いに存じます。

2021年度の国内経済につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大により長期間の活動制限が強られるなど、厳しい状況が続きました。さらに、ウクライナ情勢を背景とした地政学的リスクの顕在化や原材料価格高騰の影響もあり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

県内経済についても、ワクチン普及により一時は持ち直しましたが、年度後半は変異株の影響により持ち直しの動きが弱まるなど、一進一退となりました。足元では、国内客の入域観光客数が前年同月比で増加するなど、緩やかな持ち直しの動きが見られています。

そうした経済状況において、地域金融機関においては、ポストコロナにおける経済の力強い回復を後押しするため、引き続き事業者の実情に応じた資金繰り支援と地域のお客さまの未来へ向けた支援が求められております。

このような環境のもと、当行は2022年4月から2025年3月までの3年間について、第17次中期経営計画「スピード&クイックレスポンス」を策定しました。基本方針に「あなたの明日へ全力支援」を掲げており、今まで以上のスピード感を持って多様なニーズに応え、お客さま本位の良質な金融サービスの提供に取り組んでまいります。また、SDGsの取組みにおいても、緑化推進を中心に自然環境の保全を図りながら、経営理念に基づいた企業活動を展開し、地域経済の成長と発展に寄与することでサステナブル(持続可能)な社会の実現に努めてまいります。

沖縄県は本土復帰50年を迎えました。当行は沖縄を築き上げてきた先人の想いに応えながら、これからも時代の変化に対応し、「お客さまのお役に立てる一番身近な銀行」を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも、なお一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2022年6月

経営方針

経営理念

地域
密着

健全
経営

人材
育成

行動指針 KAIHO MINDS

K A I H O

Kind Active Intelligence Honest Originality

ブランドスローガン

Beyond the Bank

あなたの明日へ

第 17 次中期経営計画

(2022 年 4 月～ 2025 年 3 月)

第 17 次中期経営計画では、当行の強みであるフットワークを活かし、今まで以上のスピード感を持って多様なニーズに応え、お客さま本位の良質な金融サービスの提供に取り組み、明日に向かって共に成長していきます。

..... キャッチフレーズ

スピード&クイックレスポンス

..... 当行の目指す姿

お客さまのお役に立てる一番身近な銀行

..... 基本方針

あなたの明日へ全力支援

重 点 施 策

御用聞き・コンサルティング営業の強化

リテール業務の強化・効率化 | 事務の省力化・軽量化・省人化

多様な人材が活躍できる体制づくり | お客さまチャネル多様化への対応

お客さま本位

ガバナンス

コンプライアンス

リスク管理

SDGs

トピックス

2022年3月7日

コザ支店・諸見支店新築移転OPEN

店舗内店舗方式を活用してコザ支店・諸見支店を新築移転しました。

当行初の空中店舗（1階はATMコーナーとし、店舗は2階にごぞいます）であり、ゆったりと落ち着いた雰囲気でご利用いただけます。

● コザ支店・諸見支店外観



内観



**フリーWi-Fi設置！待ち時間の合間にインターネットをご利用いただくことが可能です。
お客さまのご来店を心よりお待ちしております。**

2022年3月22日

美里支店新築移転OPEN

店舗名を十字路支店から変更し、美里支店として新築移転しました。

広いロビーにモノトーン基調の内装に合わせたソファ等を設置し、開放感のある店舗となっております。

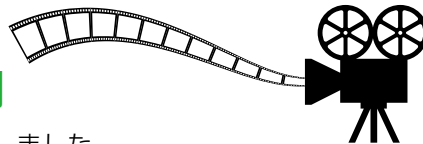
● 美里支店外観



内観



WEBドラマ 「未来にもっと、ときめこう」の制作・公開



「未来にもっと、ときめこう」をキーワードとしたWEBドラマを制作・公開しました。

ローンを切り口として、お笑いの要素を含んだ3本と、夢を実現するドラマ1本の合計4つのストーリーで展開します。ローンを通して夢の実現を応援し、悩みを解決する内容となっておりますので、ぜひご視聴ください。

今後も地域金融機関として個人のお客さまや事業者の皆さまを応援し、地域社会の発展に努めていきます。

あなたの明日を
応援しています。



動画視聴はこちら

かいぎんSDGs宣言 1.自然環境の保全

- 「みどりの運動」を継続し、緑化推進、環境保全の啓発に貢献します。
- 「チーム美らサンゴ」への参加や海浜清掃活動を通して、海洋環境の改善に努めます。



みどりの運動

当行は、1974年から長年に亘り「みどりの運動」を展開しています。「沖縄をみどりの島に！緑と花で心にやすらぎを！」のキャッチフレーズで、郷土に緑と花を増やし、安らぎのある街づくりに取り組んでいます。

みどりの募金

みどりの運動に賛同してくださったお客さまや役職員からの募金により、寄付活動を行っています。みどりの募金への寄付は、みどりの運動が発足した1974年から47年間に亘り続けています。

これまでの募金総額は1億1,300万円となり、お客さまや役職員などから寄せられたご好意は、さまざまな緑・森林づくりに活用されています。



育樹活動

2021年11月27日、糸満市の沖縄県平和創造の森公園内に造成された「かいぎん平和の森」において第5回目の育樹祭を開催しました。



かいホーくんフラワー大作戦

地域の皆さまと共にSDGsに貢献する緑化活動を広げようと、2021年11月8日より「かいホーくんフラワー大作戦」を実施し、窓口でお花のタネをお配りしました。お花が咲くまでの成長過程を投稿いただき、ホームページに掲載しています。



沖縄花のカーニバル2022へ寄贈

2022年2月9日、第39回沖縄花のカーニバル2022「プランター贈呈式」が開催され、プランター100鉢を寄贈しました。



チーム美らサンゴへの参加

2005年より「チーム美らサンゴ」に参加し、サンゴ礁の再生・保全活動に取り組んでいます。

語呂合わせで「サンゴ」にちなんだ2022年3月5日、恩納村の真栄田漁港、与久田ビーチおよび久良波海岸のビーチクリーン活動に参加しました。



CO2吸収量認証制度による認証

「かいぎん平和の森」の森林保育活動に対して、2022年3月30日、沖縄県CO2吸収量認証制度による「CO2吸収量認証書」の交付を受けました。今後も、みどりの運動を展開し、CO2削減に貢献できるよう取り組みます。



かいぎんSDGs宣言 2.地域経済の発展、持続的な成長

➤お客さまの企業ステージごとの経営支援およびソリューション活動に注力し、地域経済の発展と持続的な成長を支援します。

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



TBBの活動について



Team Beyond the Bank ～TBBの活動～

当行では、「お客さまのお役に立てる一番身近な銀行」を実現するため「Team Beyond the Bank」(TBB)を結成しています。これまでの銀行業務の枠組みを超えた新しい形での顧客支援として、中小企業の一員となり経営会議への参加や事業計画作成支援などを行い、事業の未来を一緒に創り上げています。お客さまと同じ目線に立ち、お客さま本位のサービス提供を目指し活動しています。



TBB活動理念(3C)

Challenge 若手が前例のない事に挑戦
Creative かいぎんの新たな未来を見出し、創り出す
Change あらゆる環境の中で、幅広い知見を深め、魅力ある人財へ変わっていく



トマト農園の栽培作業支援



事業計画の作成支援の様子



外部機関と連携

沖縄電力との 「脱炭素社会の実現に向けた包括連携に関する協定」締結

2022年3月11日、株式会社沖縄電力と包括連携協定を締結しました。

本協定に基づき、両社の相互連携によるシナジーを発揮し、県内のCO2排出ネットゼロと、持続可能な社会の実現に向け協力して取り組みます。



商工中金との 「事業再生・経営改善支援に関する業務協力契約」締結

2021年9月28日、株式会社商工組合中央金庫と業務協力契約を締結しました。

両社で相互に協力し、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた中小企業・小規模事業者の事業再生・経営改善支援に、これまで以上に積極的に取り組みます。



八重瀬町との 「キャッシュレス推進に関する連携協定」締結

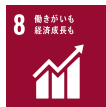
キャッシュレス化を推進し、八重瀬町の地域活性化および市民生活環境の充実化に貢献することを目的として、2021年12月24日、キャッシュレス推進連携協定を締結しました。

今後も、新型コロナウイルス感染症対策の新しい生活様式においても推奨されているキャッシュレス決済を推進し、地域活性化およびサービス向上に努めます。



かいぎんSDGs宣言 3.地域社会の活性化

- 地域に密着した社会貢献活動を通し、地域の課題解決や産業振興、コミュニケーションの活性化に寄与します。
- 沖縄の文化・伝統やスポーツの振興を支援し、豊かな社会環境の構築に貢献します。



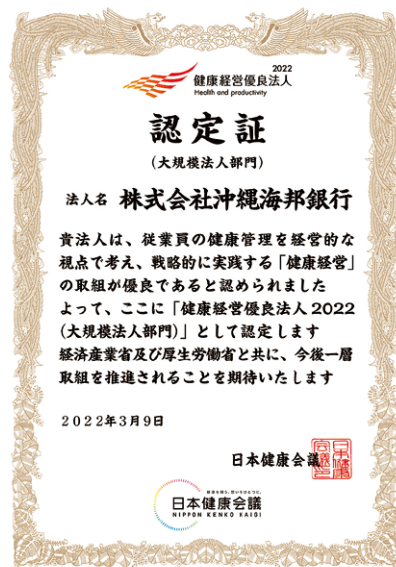
グローバルマネーウィーク(Global Money Week)

若年層に対する金融教育および金融包摂を推進するための国際的な啓発活動「グローバルマネーウィーク」の趣旨に賛同し、2022年の活動に参加しました。かいホーくんが店頭にて金融リテラシー向上の重要性と金融教育アプリ「クイズ・かいホー伝説」(SDGsバージョン)の活用をPRしました。



健康経営優良法人2022 (大規模法人部門)に認定

2022年3月9日、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人認定制度」において「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定されました。2021年6月24日に健康経営宣言を掲げ「職員一人ひとりが『健幸』で、未来に向かって成長するかいぎん」の実現に向け取り組んでおります。



赤い羽根共同募金に贈呈

2021年11月11日、役職員からの募金48万円余りを那覇市社会福祉協議会に「赤い羽根共同募金」として贈呈しました。1993年からの募金総額は892万円余りとなりました。



海邦銀行ジュニアサッカーフェスティバル

2021年11月21日、豊見城総合公園陸上競技場にて「海邦銀行ジュニアサッカーフェスティバル」を開催しました。多くの小学生が参加するなか、海邦銀行サッカークラブの選手による指導も行われ、大いに盛り上がりました。



沖縄海邦銀行杯争奪中学校軟式野球大会

2022年3月11日、「第29回沖縄海邦銀行杯争奪中学校軟式野球大会」への協賛金50万円を贈呈しました。スポーツを通じて地域振興・青少年の健全な育成を目的に1994年より毎年協賛しています。



業績ハイライト（単体）

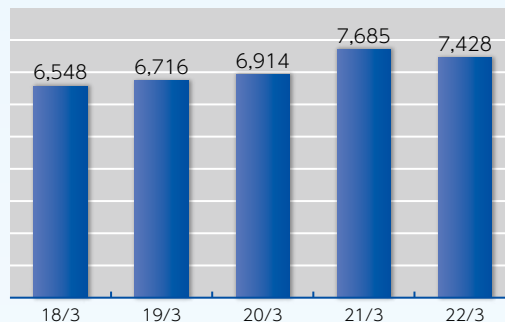
預金

7,428 億円

預金残高は、個人預金および法人預金は増加しましたが、指定金融機関契約の満了に伴う公金預金の減少により、前年比256億69百万円減少の7,428億71百万円となりました。

預金期末残高

(単位:億円)



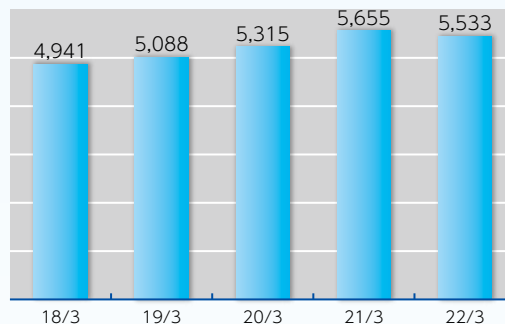
貸出金

5,533 億円

貸出金残高は、前年度に比べ新型コロナ関連の緊急的な資金需要が落ち着いたことなどから、前年比122億63百万円減少の5,533億5百万円となりました。

貸出金期末残高

(単位:億円)



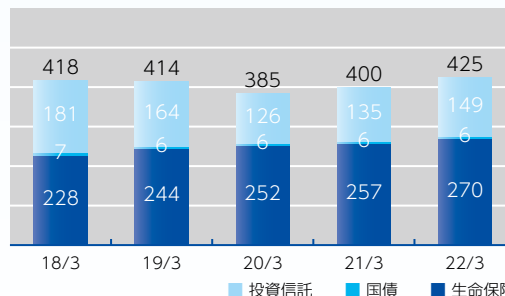
預かり資産

425 億円

預かり資産残高は、本部支援班によるお客さまへのフォロー体制を強化したことで、投資信託および生命保険の残高が増加し、前年比25億20百万円増加の425億81百万円となりました。

預かり資産期末残高

(単位:億円)



※記載金額は億円単位未満を切り捨てて表示しております。

経常利益

10 億円

経常利益は、貸倒引当金の増加および株式等売却益の減少などにより、前年比90百万円減少の10億4百万円となりました。当期利益は、年金制度の移行に伴う特別利益の計上により、前年比2億21百万円増加の7億19百万円となりました。

コア業務純益

17 億円

コア業務純益は、業務粗利益の増加に加え、営業経費が減少したことで、前年比7億48百万円増加の17億73百万円となりました。

自己資本比率

8.57%

自己資本比率は、利益を積み上げたことによる自己資本の増加と、リスクアセットの減少により、前年比0.24ポイント上昇の8.57%となりました。国内基準の4%を上回っており、安定した経営基盤を確保しています。

用語解説

■コア業務純益

預金や貸出金、為替業務などであげた利益（業務純益）から「一般貸倒引当金繰入額」や「国債等債券損益」など、一時的な要因を除いたものがコア業務純益となります。銀行の本来の業務から得られる利益を示すものです。

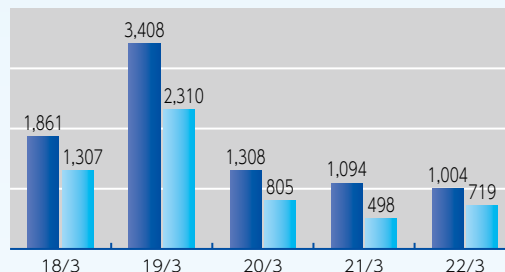
■自己資本比率

資産に対する自己資本の割合を示すもので、金融機関の財務内容の健全性を判断する重要な指標となっています。現在、当行のように海外に店舗を持たない銀行においては、その数値が4%以上であることが求められています。

経常利益・当期純利益

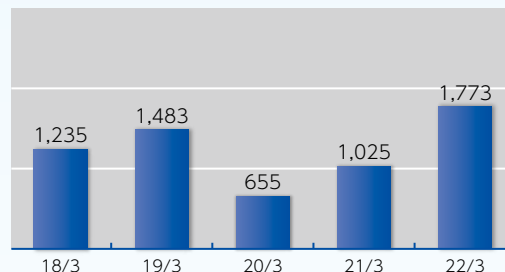
■ 経常利益 ■ 当期純利益

(単位:百万円)



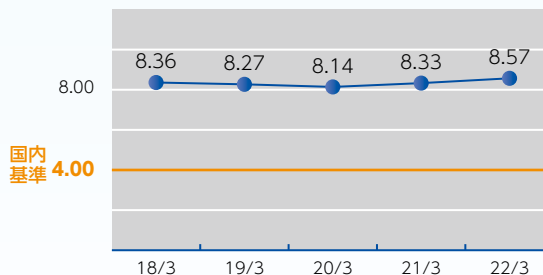
コア業務純益

(単位:百万円)



自己資本比率

(単位:%)



第 75 期財務諸表（単体）

貸借対照表（2022年3月31日）

（単位：百万円）

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	133,635
コールローン	550
有価証券	169,644
貸出金	553,305
外国為替	39
その他資産	6,674
有形固定資産	8,725
無形固定資産	966
前払年金費用	798
支払承諾見返	1,679
貸倒引当金	△ 3,312
資産の部合計	872,707
(負債の部)	
預金	742,871
借入金	80,000
外国為替	5
その他負債	4,169
賞与引当金	331
退職給付引当金	313
役員退職慰労引当金	237
睡眠預金払戻損失引当金	13
偶発損失引当金	117
繰延税金負債	21
支払承諾	1,679
負債の部合計	829,759
(純資産の部)	
資本金	4,537
資本剰余金	3,219
利益剰余金	33,662
自己株式	△ 27
株主資本合計	41,391
その他有価証券評価差額金	1,555
評価・換算差額等合計	1,555
純資産の部合計	42,947
負債及び純資産の部合計	872,707

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

（単位：百万円）

科 目	金 額
経常収益	12,676
資金運用収益	10,827
うち貸出金利息	9,803
うち有価証券利息配当金	814
役務取引等収益	1,290
その他業務収益	134
その他経常収益	423
経常費用	11,671
資金調達費用	91
うち預金利息	94
コールマネー利息	△13
その他の支払利息	10
役務取引等費用	1,097
その他業務費用	5
営業経費	9,180
その他経常費用	1,296
経常利益	1,004
特別利益	281
退職給付制度改定益	277
特別損失	22
税引前当期純利益	1,263
法人税、住民税及び事業税	440
法人税等調整額	102
法人税等合計	543
当期純利益	719

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第 75 期財務諸表（連結）

■ 連結貸借対照表（2022年3月31日）

（単位：百万円）

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	133,635
コールローン及び買入手形	550
有価証券	169,559
貸出金	553,305
外国為替	39
その他資産	6,723
有形固定資産	8,725
無形固定資産	967
退職給付に係る資産	947
繰延税金資産	1
支払承諾見返	1,679
貸倒引当金	△ 3,312
資産の部合計	872,824
(負債の部)	
預金	742,722
借入金	80,000
外国為替	5
その他負債	4,160
賞与引当金	333
退職給付に係る負債	301
役員退職慰労引当金	239
睡眠預金払戻損失引当金	13
利息返還損失引当金	6
偶発損失引当金	117
繰延税金負債	69
支払承諾	1,679
負債の部合計	829,650
(純資産の部)	
資本金	4,537
資本剰余金	3,219
利益剰余金	33,739
自己株式	△ 27
株主資本合計	41,469
その他有価証券評価差額金	1,555
退職給付に係る調整累計額	113
その他の包括利益累計額合計	1,668
非支配株主持分	34
純資産の部合計	43,173
負債及び純資産の部合計	872,824

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

（単位：百万円）

科 目	金 額
経常収益	12,735
資金運用収益	10,827
うち貸出金利息	9,803
うち有価証券利息配当金	814
役務取引等収益	1,357
その他業務収益	134
その他経常収益	416
経常費用	11,716
資金調達費用	91
うち預金利息	94
コールマネー利息及び売渡手形利息	△ 13
その他の支払利息	10
役務取引等費用	1,099
その他業務費用	5
営業経費	9,182
その他経常費用	1,337
経常利益	1,019
特別利益	281
固定資産処分益	3
退職給付制度改定益	277
特別損失	22
固定資産処分損	16
減損損失	6
税金等調整前当期純利益	1,278
法人税・住民税及び事業税	444
法人税等調整額	102
法人税等合計	546
当期純利益	731
非支配株主に帰属する当期純利益	1
親会社株主に帰属する当期純利益	729

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結包括利益計算書（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

（単位：百万円）

科 目	金 額
当期純利益	731
その他の包括利益	△ 1,211
その他有価証券評価差額金	△ 1,096
退職給付に係る調整額	△ 114
包括利益	△ 480
親会社株主に係る包括利益	△ 481
非支配株主に係る包括利益	1

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結される子会社 2社

株式会社海邦総研

かいぎんカード株式会社

役員、株式のご案内

役員 (2022年6月23日現在)

代表取締役頭取	しん 新	じょう 城	かず 一	ふみ 史
代表取締役専務	こ 湖	じょう 城	せい いちろう 誠一郎	
常務取締役	おお 大	しろ 城	まさ 昌	と 人
常務取締役	さき 崎	はら 原	まさ 正	き 樹
取締役	さき 崎	やま 山	ひろ 博	ゆき 之
取締役	ひら 平	かわ 川		まちな 衛
取締役	みや 宮	お 尾	なお 尚	こ 子
取締役	にし 西	ざと 里	よし 喜	あき 明
常勤監査役	ほか 外	ま 間	まさ 政	やす 康
監査役	おお 大	みね 嶺		みつる 満
監査役	う 上	え ず 江洲	とも 智	かず 一

(注) 取締役 宮尾 尚子及び取締役 西里 喜明は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 (注) 監査役 大嶺 満及び監査役 上江洲 智一は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

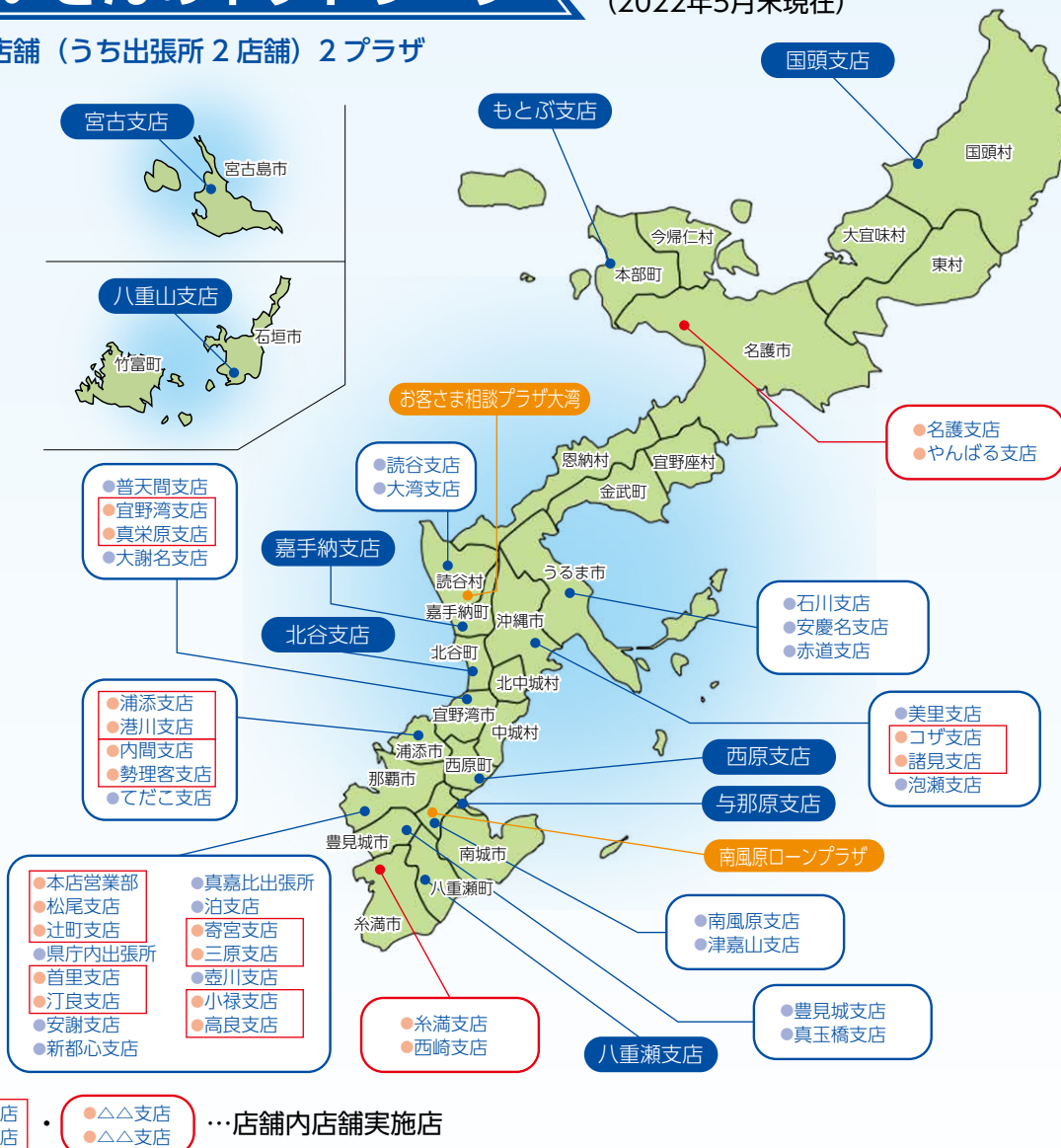
株式のご案内 (2022年3月31日現在)

決 算 日	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年決算日の翌日から3ヶ月以内に開催いたします。
配 当 金 支 払	利益配当金は毎年3月31日現在の株主名簿に記載の株主または登録質権者に定時株主総会終了後、ご指定の方法によりお支払いいたします。 また、中間配当を行う場合は取締役会の決議により、9月30日現在の株主名簿に記載された株主または登録質権者に対しお支払いいたします。 なお、配当金のお受取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込をご指定くださいますと速くて便利です。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同 取 次 所	三井住友信託銀行株式会社 全国本(各)支店
同 事 務 取 扱 所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
株式取扱手数料	株式名義書換…無料 不所持申出株券の発行または返還…株券1枚につき300円 新株券交付…株券1枚につき300円

かいぎんのネットワーク

(2022年5月末現在)

50 店舗 (うち出張所 2 店舗) 2 プラザ



店舗内店舗 (ランチ・イン・ランチ) とは

複数の営業店が1つの建物を併用して営業を行う店舗形態です。移転する店舗(子店)は廃止にならないため、移転後も店名・店番・口座番号の変更はございません。移転先の店舗(母点)の窓口は共通窓口として、いずれの支店のお取引も可能です。

プラザのご案内

南風原ローンプラザ：☎0120-07-4780

お客さま相談プラザ大湾：☎0120-61-8560

○盗難・紛失などのトラブルはここにお電話ください

沖縄海邦銀行ATM監視センター【24時間対応】 0120-811-335

<https://www.kaiho-bank.co.jp>

2022年6月発行

株式会社 沖縄海邦銀行 総合企画部

〒900-8686 沖縄県那覇市久茂地2-9-12 TEL098-867-2112

Beyond the Bank

あなたの明日へ



UD
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
見やすいデザインの文字を採用しています。